

2020年度 第1回放送番組審議会 議事録

開催日時 2020年9月11日（金）14時から15時30分

開催場所 三次市防災センター1階 会議室

出席者委員 添田龍彦・植田千佳穂・宮脇有子・益田和彦・宗清弘樹・中宗久之・
山岡幸子・中菊圭子・前田茂・内藤隆弘・石田睦子

欠席者委員 上野俊英

説明員 株式会社三次ケーブルビジョン
新宅代表取締役社長・林専務取締役・日野取締役（管理部長兼管理課長）
津田営業課長・向井制作課長・植木課長補佐

- 1 開 会 定刻になり事務局が開会を宣言。任期满了に伴い、出席者委員11名
に対して代表取締役社長が放送番組審議会委員の委嘱状を交付、続いて
代表取締役社長が開会にあたって挨拶する。
- 2 正副会長互選 放送番組審議会規則第5条に従い、会長及び副会長の選出に入り、会
長に植田千佳穂氏、副会長に山岡幸子氏が選出された。
- 3 会長挨拶 植田会長が就任にあたり挨拶を行い、放送番組審議会の務めを果たす
ために、委員の皆さんの支援と協力をお願いしたいと述べた。
- 4 副会長挨拶 山岡副会長が就任にあたり挨拶を行い、放送番組審議会の務めを果た
すために、委員の皆さんの支援と協力をお願いしたいと述べた。
- 5 委員紹介 各委員が就任の自己紹介を行った。
- 6 社側紹介 役員・社員が自己紹介を行った。
- 7 審 議 審議に先立ち、制作課長が4月4日に放送した『テレビ公開演説会』
の特別番組について、資料に基づき企画意図及び番組概要を説明した。
(事前にDVDを送付した。)

- 会 長（司 会） 視聴いただいた DVD の内容について、忌憚のない意見をお願いします。
- 委 員 4 月 5 日の告示前に、放送したことに意図があったのでしょうか。
- 事 務 局 選挙運動、政治活動の違いがあり、告示を迎えると選挙運動の範囲にあたり、放送法の中で政見放送以外は認められない制約があるため 4 月 4 日の告示日前日の放送となりました。
- 社 長 急な企画・放送だったこともあったが、本来はもっと前にやるべきことでした。反省しています。
- 会 長（司 会） 法律的には問題なくクリアしていたという事でよろしいでしょうか。
- 社 長 問題なくクリアできました。
- 委 員 青年会議所の主催という事でしたが、番組の冒頭部分の趣旨説明がなかったのは理由がありますか。
- 社 長 意図はありませんが 2 時間という長尺に更に挨拶、趣旨説明を入れると更に長尺になってしまいます。中身は立候補者の政治姿勢を発表していただく場なので、それに関連するものしか放送しないという事で実行しました。
- 委 員 演説会の内容については、事前に指示されたものがあったのでしょうか。
- 事 務 局 演説会の開催自体については、主催者である青年会議所の規定に基づき制作しました。具体的な内容としては、環境の平等性など、演説時間は 5 分以内とし、公職選挙法に触れないように投票の呼びかけ又は、それを連想させる「よろしくお願いします」等の表現は禁止という事で、JC と当社も立ち会って収録時に発言内容を確認し放送を行いました。
- 委 員 DVD の短編の視聴しかできていなくて、長編の方へ収録されていれば、申し訳ないが、政見発表という事でいろいろな方への配慮の中で、立候補者の中には指を使って、政策を示したり、要約した様に指でナンバーリングを

されている方もいらっしゃったが、プラカードや掲示物は禁止をされていたのでしょうか。

事務局 規制をしていたわけではありませんが、平等にという事で、背景は青年会議所のマーク（スポンサーマーク）で対応されました。そのみで行うようにしていた事はあるが、立候補者の中から、フリップを使用して演説をしたという協議にもならなかったのが現実です。

社長 青年会議所の指導で、例えば選挙で使用するシンボルカラー、候補者独自の標語は使用しないということがありました。

会長（司会） 市議選における初めての試みという事で、持ち時間が1人当たり5分で24名となると、放送が2時間という長さの放送となるが、各出演者も平等に取り扱われるという流れで、番組制作されたという事ですが、その他更に質問等はございますか。

委員 発表者の氏名等の記載はあったが、耳の不自由な方に向けた字幕等の放送があれば良かったが、特にそういった話にはならなかったのでしょうか。

事務局 視聴されている中には、耳の不自由な方、目の不自由な方もいらっしゃると思っはいるが、今回、企画から収録・放送までの期間が短く、立候補者の思いや地名のあざな等が出てきた時に間違いがあっははいけないという事や発言内容にもチェックを重ねたという事で、かなりの時間を要しました。制作の前段階の時点で、両方で字幕はいれないという決定をしました。確かに、字幕があった方がいいという協議は事前にはあったが、対応できませんでした。

副会長 個人演説会ができなかった中で、各候補者の取り組みや思いを言葉で聞いて良かったです。難しいとは思いますが手話通訳があれば、なお良かったが時間の関係上難しかったことは理解しました。演説時間については、1人当たり5分という時間は3分では短すぎると思うので、妥当であったと思う。平等にという事であったが、公職選挙法に触れない様にという事で、平等になっているかどうかはよくわからなかったが、おそらく平等になっていたと思われます。

三次市の問題点をそれぞれ取り上げ、放送で聞けることは良いことで、今後もこのような放送をしていく事は良いことだと思います。

議会の様子を知るという事で、今回から委員会の中継も始まり、開かれた議会という事もあり、生の声を聴けるという事では非常にいい取り組みだと思います。

また、議員本人に話を聞く事が出来たのですが、ぜひ取り組みを続けていただきたいとの意見でした。そして多くの方に見ていただき、大変良かったという声を聴きました。

放送時間1人5分は、議員さんにとっては短かったようで、7分はあってもいいという意見でした。制約が多かったという事も言われていました。できれば、発言がしやすくなればいいという意見もありました。最終的にはこれからも続けてほしいという意見でした。

委員 ピオネットの放送で子供が出演する地元行事は見るが、なかなかこのような番組を見る機会がありませんでした。これを機会に関心を持たなければいけないと視聴者として思いました。

固い番組を視聴される方の意見はどういう方法で出てくるのか、また地元の政治に関心を持っていただく事が目的の一つと言われていたが、他の目的として、顔と名前が一致すればよかったのか、政治的な自分の意見を知ってもらうために取り組まれたのかで、表現方法は変わってくるのではないかと思います。そうすれば、先ほどから出ている、いろんなハンディをもった方の事も考えた立候補者がいたのではなかったかと、放送後いろんな方の意見を聞くアンケートを取るなどの取り組みはどのようにされたのですか。

専務 今回の選挙はコロナの中で立候補者が、有権者に向け何を目的に政治家として、議員として立候補するのか伝わらなければならないという事で、地元のケーブルテレビ事業者として青年会議所と協力して放送する試みを行いました。実際に選挙の報道をすると、公職選挙法・放送法でいろんな制限が設けられています。選挙運動は、立候補して告示日から選挙投票日の前日まで認められているが、放送事業者が選挙運動を放送することは認められていません。認められているものは、国政や知事選挙の政見放送・経歴放送といったものしか放送できません。

告示前においては、政治活動をするのは選挙運動でなければ可能という事があったので、告示日の前日4日に公職選挙法に触れない範囲で放送した。今回の26名の立候補者の中で、24名の皆さんが収録されました、収録にあたり、参加者の発言内容や公平公正であること、発言内容が選挙運動ではなく政治活動としてのものであり、公職選挙法に違反しないようにという前提で参加していただくという事もあって、チェックしながら収録しました。発

言内容を拘束したわけでもなく、政治活動の範囲での発言にさせていただかないといけない言うことを伝えスタートしています。そのあたりが、政治活動ではあるが、選挙運動にはならないようになど議論を費やし、収録の終了が放送日の3日前でした。その後編集作業したので、文字放送等の対応も十分ではなかった点をご理解いただきたい。

社 長 言葉がたくさん出てきて混同されていると思います。要約すると、政治活動はいつでもできるが、選挙運動は告示後でないとできないという事です。政治活動であれば告示前でもできるという事になります。

事 務 局 アンケートの件ですが、選挙に関わる放送という事でアンケートは行っていません。選挙の告示後にニュースとして、立候補者の紹介は平等に全員行っています。(時間枠・写真の画角も揃えて) 開票作業、その結果においても番組で取り上げています。

委 員 コロナ関係もあり、顔と名前が一致しないケースがあったが、顔と名前が一致し、思いを伝える事で、ケーブルテレビの役割として市民に対するサービスとして継続していただきたい。内容については、出来ればテーマを持って思いを述べていただいた方が良いのではないかと思います。市議会議員の理解と思いが市民に伝わり喜ばれると思います。
今後も、積極的に取り組んでいただきたいです。

委 員 できることをしながら、してはいけないことは無理なので、少しずつ改善していただければ、よいと思う。

会 長 (司 会) 放送するだけでなく放送したものを検証しながら、次にいかせれば良いと思います。

委 員 地域から様々な経験を持ってらっしゃる方がお話をされる事を一人ずつ聞く事が出来たのは大変良かった。これからも「あっちこっち三次」という番組の中で、定期的に関係ない議員さんの動きや思いを話せるコーナーがあってもいい。顔と名前が一致すれば街中で声をかけながら「こんなことを感じている」という交流が生まれ、市民の声を議員さんへ届ける機会も出てくるのではないかと思います。非常に良かったと思い感動しながら拝見しました。

委員 コロナウイルス感染症の拡大防止という観点で始められたと思いますが、特に市議会議員は立候補される方が、大変多く皆様の考えを聞く機会が実は少ないので、このような機会があつて非常に良かったと思っています。ただ、時間が2時間という事で、視聴者としては根気が続かないという部分もございました。できれば、もう少しコンパクトにして複数回に分けるという事にはならないかと思いましたが、ただ、いろいろな制約のある中でやっていただいたことは大変有意義であつたと思います。

委員 30分版の番組を見せていただいたのですが、時間を計りながら見せていただきました。皆さんほとんどドンピシャで5分の中であれだけのボリュームのものをお話しされるという事で、受け取る側とすれば、圧縮して非常にコンパクトに話もされておりますので、一応政治活動という事の中で公約という言葉を使用していいかわからないが、そういった事を、言葉で列挙されております。先ほども出ましたが、やはり目に見えるものがないと、なかなか頭の中に残りにくいと思いましたが、時間の中で、視聴者にわかる様にするのは非常に難しいと思ひご苦労された事と思います。市議会議員選挙に関わる事が少ない中で、改めてこういった顔のこういう名前の方が、こういった思いを持って出られるんだという事がよくわかり非常に良かったと思います。今後も続けていただきたいと思ひます。2時間は長いので腰を据えて、見るほうも工夫しながら見ないといけないと思ひました。

委員 従来の選挙活動ができない中で、このような主旨の取り組みは非常に有意義なものと思ひます。皆さん言われましたように、番組をみていますと2時間は長いと思ひましたが、1人当たりの時間で見ると5分以内できっちり守られている。市議会議員選挙という事で人数が多いという事で、番組全体で見るとこのような時間になってしまうのは、致し方ない部分もあると思ひますが、番組としては長い。DVDであれば休憩しながら見る事ができるが、番組という事になると、通しての視聴になりますので、時間の方は長いと感じてしまいます。

法的な制約・規制があるという事を、今回教えていただき非常に参考になりました。この会議に参加するまでは、告示後に放送した方が、盛り上がるのではないかという意見を申し上げようとしていました。そういった事ができない事がわかり、なるほどと思ひました。そういった事を各市民・視聴者の方へ法的制約がある事の知識がない状態で見ると、ここはこうした方がいいのではという事が出てくるのではないかと思ひます。知識の普及も初めにしながら選挙の放送も考えていただければと思ひます。一方的な演説とい

うよりは、何かテーマを決めてそれについて一定の時間語り、残りをフリーの時間にするとか、またこちらでテーマを提示しにくいのであれば、政策の優先課題を自ら挙げてもらい、後はフリーにするとか、一部分だけでも同じ縛りでやっていただけると、非常にわかりやすかったのではと思いました。ぜひフリップを使用して言葉だけでなく、文字の発信もしていただければ、もっとわかりやすかったのではないかと思います。

委員 今回、コロナの中での対応という事でしたけれども、そもそも地域がかなり広いので一週間の選挙期間中一度も候補者の声を聴かなかったという事が、今まで多々ありました。こういう機会を与えてもらったのは非常に有意義であったと思います。時間については、先ほどからありますように候補者の方、支援者の方にとっては5分というのは聞いていても短い時間なのかなあと感じましたが、逆に興味のない方にとっての2時間は長い時間だと思われます。ここは工夫が必要だと感じました。残念だったのは、最終的な立候補者が26名いらっしゃいましたが、2名の方が参加されなかったことです。いろいろな取り組みはあったと思いますが、できれば全員の方のお話を聞きたかったというのが感想です。

委員 三次市議会選挙の時は、三次でもクラスターが発生していたという事で、候補者の皆さんが感染防止の為に、申し合わせにより個人演説会・有権者との握手を自粛されるという、これまでの選挙では経験した事のない選挙戦でありました。候補者が有権者に対して思いを十分届けることができなかつたので、両者にとって非常に有意義な放送であったと思われます。

後援会長を務めている関係もあり、この番組については特に関心がありました。放送日であります4月4日にはビデオに録画して、後から全員の話を見せさせていただきました。立候補予定者の内24人が出演されていきました。一人あたりの持ち時間5分という短い時間ではありましたが、全員を見ようとすると、2時間かかりますので、一人当たり5分というのは丁度いい時間であったと思います。立候補者の年齢・職業等新聞に略式程度にしか記載されておりません。立候補者のリーフレット・挨拶文等は全ての候補者のものが、有権者の元へ届くわけではありませんので、知ることができる情報はかなり限られています。テレビでの公開演説会があると、立候補者の人柄であるとか、主張がよくわかりますので、今後も番組を放送していただきたい。また障がい者でありますとか、心身の状態、仕事の都合によって個人演説会を聞きに行けない人たちにとっては、立候補者を見極める上で大変有意義な番組であったと思います。

会長（司会） 全員から意見、質問をいただきましたが、さらに質問等ございませんか。
今後も放送するという事になった場合、こういった形で放送するのがいい
か等意見等ありましたらお願いします。

社長 先程も申し上げましたとおり、もう少し前、少し告示日の前日から1日は
あけた方がいいと思います。ご指摘いただきました様々な事も、研究いたし
まして、もり込めるものは、もり込んでいきたいと思います。コロナという
特殊事情はございましたが、立候補者のご意見をきちんと聞く事、どんな政
治を目指していらっしゃるのか、心情を聞くという事は非常に有意義である
と思いますので、選挙運動とは別に政治活動として、取り上げることに越し
たことはないと考えています。

会長（司会） 1人5分間で24人、2時間の収録内容となっている中で、共通のテーマを
持って演説を行ってほしいという意見がありましたが、対応することは可能なの
でしょうか。

事務局 まず時間については、2時間というのは24人掛ける5分という事もあつ
たが、順番という面もありました。支援者の方は早く見たいという事があ
つたと思われませんが、演説の順番については、事前にくじ引きで青年会議所
が決定した順番で放送することが、決定していました。2時間の放送を2分
割・3分割・4分割という方法で放送すると、青年会議所で決定したルール
に基づき放送することが、2分割目の放送はこの人が1番という事ではルー
ルを守れないという事がありました。そのため2時間を1本として放送し
た経緯がありました。その辺につきましては、こういった放送ができたらい
いというものを、今後のステップで考えていきたいと思っています。

放送するにあたって初めての試みで、興味がある方、ない方がいらしゃつ
てこの発言が、公職選挙法に触れているのではないかと、二重、三重のチェ
ックを行いました。まず、1回目の放送をやりきる、取り組み自体を成功さ
せなければならないという事で、問題なくできるようにラインを設けて対応
したという事で、視聴者の方は、この点が足らなかったという事は多くあつ
たのは反省しています。

専務 先ほどから、番組のテーマという事が出ておりますが、テーマを設けると
いう事は少し違うのかと思います。立候補される方は、それぞれの政治家を
目指す上での思いというものが、個々にあつて、最初からテーマを決めると
いう事においては政治家として主張を述べる点で適切ではないと考えます。

ある程度、三次市で議論があるとか、例えば子育て・議員定数であるとか、そういったテーマが議題になって、そこで選挙戦を迎えるという事であれば、可能かもしれないけれども、今回は初めての試みの中で、新人の方もかなり立候補されており、政治家を目指す個々の方々にやはり自由な時間という事が先決ではないかという思いもあり、テーマであるとか、こういった内容をこういった風にしゃべって下さいといったようなことは一切しないという事で対応しました。あえてテーマ等は意識してしなかったという事は、政治家としての思いを自由に述べていただき、有権者の方に判断いただく機会を提供するのが我々の使命であるという事で、番組を企画したものを放送しました。弁護士や選挙管理委員会とかケーブルテレビ連盟等にも問合せするなど、法律的なものに抵触するしないに神経を使って放送をしております。立候補されている議員さんも公職選挙法に触れない様にさせていただくという中で、自分の政治家としての主張を述べていただく事が一回目の取り組みでした。

今日いただいた意見を参考にしながら、次の機会にやることがあれば活かしていきたいと思います。

委員 立候補予定者は、それぞれ個々に考える着眼点が異なりますので、三次市における様々な課題の解消を主張されておりました。三次の財政・議員定数・災害復旧・社会経済・医療・教育・福祉・学校・働く場などそれぞれの地域課題なども多く、いろいろな分野にわたっておりました。一般有権者にとってはそれを聞く事により、三次市の現状であるとか課題を沢山知ることができたと思いますので非常に良かったと思います。

一つお尋ねしますが、カメラの前で話されるとき、ほとんどの方が、原稿を見ながらお話をされたと思いますが、中にはカメラ目線で話をされている方がいらっしゃいました。その方は、カメラの前に原稿が準備されていたのでしょうか、それとも原稿なしでお話をされたのでしょうか。

事務局 カメラ目線で話されていた方は、原稿は見られていませんでした。

会長（司会） 皆さんの意見が出揃ったようです。本日はたくさんの貴重な意見をいただきました。これで放送番組審議会を終了する。

社長 ここでお礼を申し上げます。添田前会長には、6年という長きにわたり会長を務めていただき、本日も貴重な意見をいただきました。改めてお礼を申し上げます。今後2年間もどうぞよろしくお願いいたします。

5 閉 会 事務局が本日のニュース番組「情報ストリート、あっちこっち三次」で、この審議会の模様を放送し、議事録を HP に掲載することを伝え、次回、第 2 回目の番組審議会は 2 月に開催予定の旨を伝え、閉会した。